

# 満場を笑いに誘う名人芸



10月25日 とよおか寄席



第657号  
 発行人●豊丘村公民館 唐澤克己  
 編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (11月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,379人  
 女 3,488人  
 総人口 6,867人  
 世帯数 2,111戸

「世界のバラ園」というキャッチフレーズに引かれ、公民館のバスハイクに参加いたしました。天候に恵まれ、広大なバラ園を常設の「ロードトレインポップ」で一周しました。花はまばらでしたが、目を引いたのはアラビアンローヤルでした。また、長良川を渡るバラの花筏も見事でした。色とり

盛り沢山の魅力が  
 北市場二 北原昭子

## 10月14日、岐阜方面へ公民館バスハイク

# バラの香と美濃焼に心しみ

どりの人工的な筏で、楽園の一部を見た思いです。花のミュージアムの側の「織部庵」にも立ち寄り、匂うような手触りの志野碗、お薄(薄茶)をいただきました。石露の花の庭には、織部の石灯籠や石手水があり、室町時代の文化の高さを感じました。空には気球が浮かび、イベントを行なう端正な「ブリンセスホール雅」もあり、盛り沢山な花フェスタ記念

公園でした。アネネのバラ園など、また訪れたい思いを胸に帰路につきました。バラの香りに魅せられて  
 市場 大原眞由美

庭いっぱいには野草が咲き乱れていました。野菊も赤、紫、白、黄と色とりどり。蜜袋・蓼・雑然としている様で隅々にまで気の配られた庭で心に残りました。昼食は蟹釜めしを戴き、その後、美濃焼ミュージアムを見学しました。織部焼は緑が特徴の陶器で「これ家の皿と似ている」という声が聞かれる程身近に感じました。また、志野焼、近代作家の力作も観賞しました。今回のバスツアーは九十余名もの参加があり、圧倒的に多い女性の



広大な花フェスタ記念公園を背景に

「不器用でもいい、愛してあげてね。」と、保育園の先生に励まされた言葉を思い出します。大義名分がすばらしくなくてもいい。絵本の読みかきせは、親子によく効きます。  
 (小池淳子)

# 笑福亭鶴光師匠

## 口跡も場慣れして鮮やか

文化事業にも  
 新しい風を  
 本館主事 竹村久永  
 公民館本館文化事業の第2弾として、「とよおか寄席」が十月二十五日(日)の午後二時から交流学習センターで開かれた。出演したのは、ニッポン放送の深夜番組「オールナイトニッポン」で一躍人気者となった

豊丘寄席を観て  
 北垣外 富永博道  
 久しぶりの寄席だと出囃子を聞きながら開演を待つ。

笑いは日頃のストレスを解消し、私たちの人生を明るく豊かなものにしてくれます。笑いを誘う落語は、テレビやラジオでも観たり聴いたりできますが、やはり実際に生で観賞するとその面白さや味わいが違ってきます。面白さや味わいに深みが増えるのです。これこそまさに臨場感の迫力です。「とよおか寄席」で招いた笑福亭鶴光師匠の名人芸を報告してもらいました。

た笑福亭鶴光師匠ら四人。前売り券は、村制六十周年を記念して大人が千円、高校生以下は五百円で販売された。来飯は二回目となる鶴光師匠は、酒の酔い飲みを題材にした新作落語「試し酒」を披露。サラリーマン川柳を取り入れ、軽妙な語り口と豊かな表情で客席を笑いに包んだ。また、「太神楽」の鏡味千代さんが曲芸の傘回しを観客と一緒に演じて、会場を大いに沸かせた。実行委員長の壬生一さんは、「こうした催しはテレビ以外で見られる機会が少ない。マンネリ化させないためにも、実行委員を募集中。」と話している。



太神楽には観客も加わり

前座・二つ目に続き、太神楽を観る。寄席では色物だ。私は運よくかぶりつきの席で正面に坐れた。演技を観ながら想いは私の子供時代を振りかえっていった。母の弟が新宿で自転車店を開いていて、私はよく末広亭へ連れていかれた。恵まれた少年だった。出囃子が変わり真打ち登場となる。笑福亭鶴光。上方落語の人気者で売れっ子!

演目は「試し酒」。さすがに口跡も場慣れして鮮やかだ。笑いのとり方、落ちへの持っつき方は流石だと思ふ。満場の笑いを誘い、落ちを決め拍手で退場する。私は豊丘に居を移して五十年。毎年の様に大阪は角座や演芸場、浅草六区の演芸場へ妻や近所の人を誘い笑いを楽しんだ。寄席へ行かなくなつて十余年。笑いながら帰宅の途についていた。

段丘  
 毎日の腹筋も、英会話も美文字練習も、続けることができなかった私が、最近続けていることがあります。寝る前に子どもたちにする絵本の読みかきせです。子どもの感性の為に、なんて胸を張っては言えませんが、眠る直前まで大ききわがしている子どもたちを静める為に、私自身を怒りから解放する為に続けています。保育園児や小学生のお子さんを持つ方は、簡単に想像がつくでしょうが、幼い子どもたちは夜になって布団を敷いても、飛んだり跳ねたり、泳ぐマネをしたり、叩き合いのケンカをしたり。そしてそれを仁王立ちで叱りとばす私。平和とは程遠い姿です。

# 今年は大豊作！

### 森林組合へのインタビュー

今年は松茸が大豊作だったということで、飯伊森林組合豊丘支所に取材に伺った。今年は総出荷量が約九・一トンと例年を大きく上回っている。因みにここ数年の当支所の出荷量は

- 二十三年 二・五トン
- 二十四年 〇・三五トン
- 二十五年 一・九トン
- 二十六年 五〇トン
- 二十七年 九・一トン

せすに口コミによるものが主であるが、今年ほど出荷量が多いと、買い求める人達が列をなして並ぶ状況である。お客様は主に中京方面だが、今年は滋賀、千葉、茨城など遠方からも来て下さった。なお、委託販売先として名古屋、広島県と契約しているとのこと。

今年も、多くの方に村有林の鑑札をご購入いただき、誠にありがとうございます。マツタケが昨年を上回る豊作に恵まれ、多くの方に豊丘村の秋の味覚を味わっていただけたのではないかと非常に嬉しく感じています。また、首都圏のメディアにニュースで取り上げられたこと、全国各地からも数多くのお問い合わせがあるようです。

豊丘村役場  
商工林務係  
牧野内良幸

(日下部富次)  
桐崎 長一

## 3年目を終えた通学合宿 裏方さんたちの活躍③

### にこちゃんず・絵本の会

恵園職員 熊谷由紀乃  
慈恵編集委員

通学合宿にはボランティアの「にこちゃんず」「絵本の会」の方をお願いしている。その方々の話を聞いた。

「にこちゃんず」春日恵理子さん。七名のメンバーで活動。年間活動は施設周りなど回数が多い。紙芝居・手品ゲームなど子どもと対話しながら楽しんでくれるように、季節に合った毎回違う出し物を持って行く。「子どもは毎回予想もしない反応をしてくれる。その都度私たちが勉強になります。」

「絵本の会」岡庭穂波さん。六人で年間子ども向けに主に活動している。お話を楽しくもらうことが目的だが、一方的



みんな笑顔で…

わせをいただき、「豊丘村のマツタケ」を広く知っていただくことができたことと実感しています。

しかし、一方で、不審車両の目撃情報やマツタケ泥棒の被害報告も多くお寄せいただいております。茸山に関するトラブルは後を絶ちません。

そこで今年度、村では従来行なっていた入山許可証のチェックや巡視パトロールに加え、不審車両のナンバチェックを行なうなど、長野県警からのご指導を賜りながら、茸山の監視を強化して参りました。そうした取り組みを行なうことで、不審車両データを蓄積し、1件の又貸しを発見するなど、徐々にその効果が現れつつあります。



いたるところに松茸が

泥棒を排除するためには、まずは鑑札購入者の皆さんがしっかりとルールを守ることが必要です。「入山許可証を車のフロントに掲示する」「腕章を必ず身に付ける」、こうした基本的なルールを守っていただくことで、鑑札購入者とそれ以外の方との判別を明確にでき、茸山の監視をより綿密に行なうことができます。

鑑札を購入していても、入山車両許可証を隠してあったり、腕章を着用していなかったりすると、不審者・不審車両と間違われてしまいます。豊丘村のマツタケを守るためには皆さんのご理解と協力が不可欠ですので、来年もきちんとルールを守って、気持ちよくマツタケを取りましょう。

### 議会の動き

## 反問権ってなに？

九月の村議会で、質疑のやり方に新しい動きがありました。それは、質問した議員に村長が逆質問する「反問権」が初めて行使されたことです。

反問権は、今年から施行された豊丘村議会基本条例でうたわれたものです。内容は、議会や委員会において、村長等が議長・委員長等の許可を得て議員に反問できるというものです。

議員がより勉強するようになるというメリットもありますが、以下のような問題点もあります。  
・一般質問では議員が事前に質問内容を通告するが、

## 眺望絶佳！ —福島てっぺん公園完成—

福島区長 林 茂 治

先日完成祝賀式が行なわれた福島てっぺん公園は、千駄木地籍の標高八〇五mにあり、南の治部坂蛇峠山、北は伊那市街、東は南アルプス等と、三六〇度の展望ができます。

障害者用トイレ、クルマ椅子でも一周できる歩道、展望台、四十名程でバーベキュー

園使用許可については、村（産建課）、区（区長、副

の核として区民が集い、楽しめる公園、伊那谷の観光スポットとして、村の行事等に利用していただけたら



絶景を背に完成祝う

## シリーズ「元氣な高齢者」⑮ 苦難乗り越え つかんだ幸福



吉川 ヒサさん  
九十八歳  
下市場在住

比較的平和な大正六年に東郷に生を受けた。しかし激動の昭和初期に青春時代を過ごし、戦後の経済の高

社にも営業で出入りしていた男性と結婚する。時に昭和十六年で二十四歳。第二次世界大戦が始まった年である。主人は履物店で下駄作

松尾に嫁ぎ、現在は次女との二人暮らしをしつつ、週二回の「ほほえみ」通いで多くの仲間と過ごすなど楽しく生活している。

十三歳で小学校を卒業し、二年間父母と暮らし十五歳で東京へ奉仕に出る。学生等が宿泊する台所の手伝いが主な仕事であった。十九歳で帰郷し一休みして岐阜の製紙会社に四年間勤め、主に台所仕事をしない再び帰郷し

長男は埼玉に居を構え、娘二人は高森町吉田と飯田市

文責 桐崎 長一  
日下部富次

**こちら資料館 158**  
**獅子舞展**  
**2つのお願い**

「とよおかまつり」での獅子舞と屋台囃子の熱気を受け継ぐ形で資料館の「獅子舞展」が始まりました。

そこでお願ひです。会場にお越しただいて各神社の獅子舞については是非教えてくださいたいと思います。今回、各神社の獅子舞について調べてみました。私の力不足に加え資料も少なく、ご存知の方もほとんどいない状況で非常に困りました。結局分かる範囲での説明しか展示できませんでしたが、神社によつては

不明な点がたくさんあります。特に、いつどこから伝わったのか？ 始まりの経緯は？ 等々、分からない事だらけです。どんな小さな事でも結構です。私までお知らせ下さい。今回の特別展が新たな情報の発掘につながる事を期待しています。二つ目のお願ひです。今、飯伊地方には約九十もの獅子舞があると云われま

すが、なぜこんなに獅子舞が盛んなのでしょうか？ また獅子舞のそもそのルーツは？ そんな疑問に分かり易く答えてくれるのが、二十一日の午後に行われる櫻井弘人先生(美博)の講演です。獅子舞のおもしろさ、伝統芸能としての大切さについても納得のいくお話が期待されます。現在獅子舞に関する書籍は少ないので、中学生も含めたくさんの皆さ



（資料館主任 唐澤武彦）

**秋の好日を 伸び伸びと大らかに**  
**10月17日、第4分館で伴野区民大運動会**



迫力満点のスターダッシュ



緊張の中にも余裕が

天候にも恵まれ、今年も四つの分館で運動会が開催されました。十月十七日は第四分館(伴野区)、十月二十五日は第一分館(河野区)と第六分館(佐原地区)、十一月三日は第五分館(堀越区)です。その中で、第四分館にレポートしてもらいました。

**景品にも工夫を凝らし**  
**第四分館長 平澤秋人**

第四分館では、十月十七日(土)南小学校グラウンドにて、伴野区民大運動会を開催いたしました。天気予報では雨も心配されましたが、無事計画通り行なうことができました。運動会の計画や打ち合わせは八月半ばから始め、九月には各自自治会から係の方々を選出していたたき、九月後半には本格的な準備に入りました。

プロプログラムについては、毎回好評な種目を中心に実施いたしました。リニア開通など、時事にあった種目なども取り入れ、白熱した競技ができたと思います。保育園児、小学生、高齢の方まで、多くの方々に参加いただけたのではないかと思います。少し残念だったのは、二十代など現役世代の方たちの参加が少なかつたように見えました。開催が土曜日ということもあって、仕事で忙しかつたのではないかと感じました。

今回は、係の女性を中心に、景品にも工夫を凝らしてみました。喜んでいただけるもの、実用性のあるものを中心提供できたのではないかと思います。次回の運動会でも、工夫した景品が提供できると思います。奮って参加していただければと思います。今回は種目の大幅な変更は行ないませんが、次の大会では工夫された種目が登場することを期待しております。

今回の運動会について、協力いただいた区役員や自治会の皆様、選出された係の方々、公民館員に感謝いたします。

横濱ゴムは、二〇一四年二月に長野豊丘工場が竣工し、その後神奈川県平塚東工場からの設備移設も六月までには完了しました。工事期間中は皆様にも大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげ様をもちまして、現在は順調に操業を続けております。

**慣れない作業も無事に**  
**10月14日、横濱ゴムが運動公園を手入れ**

**横濱ゴム株式会社 長野工場 環境管理責任者 栗原 真**

何か地域に貢献する活動ができないかと模索していたところ、県を仲介として、豊丘村より今回の里山事業のお話をいただきました。元より地域貢献の必要性を感じていましたので、社内での検討でも異論はなく、二〇一五年九月に長野県・豊丘村・横濱ゴムの三者で契約するに至りました。

この里山事業では、村民総合体育館周辺の村有林の除伐や歩道の補修、松くい虫の被害木の燻蒸処理後のビニール撤去等を中心に、二年回の作業で整備していくことを考えています。この第一回目の作業が、十月十四日に村長を始め村会議員・役場職員の皆様、指導役として森林組合・下伊那地方事務所からも参加していただき実施されました。当日は雨の予報も見事に覆り、暑さの残る中で作業となりましたが、慣れない作業も何とか無事に終えることができました。

現在、長野豊丘工場の第二期工事も控えておりますが、未永くこの地で操業が続いていくよう、村民の皆様とのコミュニケーションを大事にしながら工場を運営していく所存です。



気持ちのよい汗をかきました

**とよおか 100年前**  
**『豊丘村民話集』より**  
**佐原芝居とお蔭祭り**  
**北原 丑衛**

佐原芝居はいつごろからやりだしたか言い伝えも文献もないからわかりませんが、江戸中期ごろではないかと思われまふ。最後に演じたのが佐原の北沢源十で昭和三十一年に開演し、これが佐原芝居の幕閉じの訳であります。

幕末の弘化・嘉永のころより徳川幕府がその政事衰えて各所に勤王倒幕の旗印が上がり、一方、佐幕党が相対したとき、勤王派のそれがかが考え、京都の町をはじめ日本全国に皇大神宮様、

春日八幡様などあらゆる日本の高い神様のお札をまき散らしました。当時は科学が進んでおらず、悲しい時の神頼みという時代でしたので、これはありがたい吉兆だと日本国民の老若男女が、これはおかげおかげと毎日のようにお蔭祭りが行なわれました。

その間に倒幕の準備が着々と進みました。私が聞いた話なのですが、その祭りには男が女の着物を着て、女は男姿になり、手ぬぐいをかぶり扇を使っておかげおかげだと舞って歩いたそう、それはそれは大変なお祭りだったそうでありました。農家の



すでに取り壊された佐原芝居の舞台

人々は植え付けもそこそこにしてお祭りに参加する。当時、名声が高かつた佐原芝居が世に出て上下伊那の村々からぜひ来てくれよと言われ、まるで伊那谷の千両芝居のようなものでした。

人々がお蔭祭りに酔つている間に、ついに倒幕となり、明治維新となつたわけでありました。

その時の佐原の医者・北沢伊予吉も忠臣蔵の「おかる」をやつて大好評だつたと聞いております。芝居には浄瑠璃が付き物で、田村の屋号「ウトボラ」片桐金太郎が名コンビだつたと聞いております。

（豊丘村民話集・第壹輯）  
 （昭和五十二年）より）  
 文責 壬生雅穂

# 村外からも70名参加

## だんQくん健康ウォーキング・マラニック大会

とよおか総合型地域スポーツクラブ 酒井浩文

去る十月十二日(体育の日)、さわやかな秋空の下、表記大会を開催しました。この大会はその前身である公民館主催の「歩け走ろう大会」を一昨年「だんQくん健康ウォーキング大会」に名前を変え、より親しみのある、参加しやすい内容にリニューアルしました。

また本年度からは公民館主催から、とよおか総合型地域スポーツクラブが委託実施することになり、村外の方にも豊丘村の魅力を体験していただけるよう参加者の幅を広げ、ランナーも気軽に参加できる、マラニックの部も新設しました。このマラニックとは「マラソン」と「ピクニック」を合わせた造語で、順位や記録を目的とするのではなく、ゆっくり走りながら景色や交流を楽しみながらコース



さわやかな秋空の下で

を巡るスポーツで、現在日本各地で健康づくりのほか交流や観光等、地域の活性化に成果をあげています。さて今回の大会ですが、

村外から約七十名の参加者をお迎えし、秋晴れのスポーツ日和となりました。当日は一週間後にオープンを控えた豊丘村の新名所「てっぺん公園」を往復する約十キロのコースを設定し、九時にスタート。参加者はそれぞれペースで走ったり歩いたりしながら、秋深まる豊丘村の景色を満喫しました。折り返しのてっぺん公園では、特別に許可をい

ただき中に入れて頂くことができ、ひと足早く伊那谷の絶景を楽しむことができました。また給水エイドでは、句を迎えたリンゴやナシのサービスで豊丘村の味覚を楽しんでいただきました。親子連れの参加者も多く、沿道の自然観察や、楽しく会話をしながら歩く姿が印象的でした。先頭のランナーは「時間半ほどでゴール、ゆっくり歩く皆さんも十二時にはゴールし、楽しい体育の日のひとときを過ごせました。参加者からは、

「多くの仲間ができた」「親子で楽しめた」「日頃の運動不足解消ができた」「思い出に残る結婚記念日になった」等、次回もぜひ参加したいという声が多数寄せられました。

次年度以降は四シーズンの豊丘村が楽しめるよう大会の回数を増やし、史跡や古道を尋ねたり、途中で様々な体験が楽しめるような企画も取り入れ、更に豊丘村の魅力味わえる大会に進化させていきたいと考えています。お楽しみに!

## 図書館が「ゆめあるて」の複合施設として新しくオープンして、一年余が過ぎました。この間に新しい利用者も増え、また、南信州図書館ネットワークへの加入もあり、村外の方の利用も増加しました。皆様いろいろな目的を持って来館され、赤ちゃんとお年寄りまで様々な方がいらつしやいます。

図書館として、「読書学習の場」に加えて、調べもののお手伝いなど資料・情報提供の場として、また、皆さんの「情報交換の場」の施設でありたいと思っています。そして、マナーを大事にし、お互いが気持ちよく利用していただければと思います。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

「クリスマスお料理教室(仮)」  
場所 ゆめあるて料理講習室  
時間 午前十時半〜  
講師 原文子さん(豊丘村役場)  
〇十二月十九日(土)  
〇十二月十九日(土)  
豊丘北小三年生「ようこんでもち」の公演『パンコトランドのゆかいなねこたち』

## 〜シリーズ〜 豊丘の自然

No.145

### セイタカアワダチソウ (キク科アキノキリンソウ属)



久しぶりに植物を。とは言え、あまり好まれていないセイタカアワダチソウを。オオアワダチソウと共に明治時代、観賞用として北アメリカから持ち込まれた帰化植物。猛烈な繁殖力で荒地などを中心に増えつつけている。それにしても、この二種、よく似ている。決定的なちがいは花期。オオアワダチソウが夏なのに対し

て、こちらは秋。ところで、この二種の名は理にかなっている。どちらも、草丈に由来している。オオ(大)とセイ(大)背高。在来のアキノキリンソウに比べて大きいのでオオ、それより、もっと大きいのでセイタカと。ちなみに、前者は五十〜百五十センチ。後者は二百〜三百センチ。

「お詫び」前号の写真、たてでした。

## 俳句 短歌

雲白くとぶや真昼の落し水  
またひとり声遠くなる吾亦紅  
古手紙煙となりて秋の空  
愛犬の突然の死に秋の虹  
夫見舞う霧の晴れゆくバイク音  
石仏の背伸びを越える曼珠沙華  
大朝日霧のベールを脱ぎ昇る  
秋風やバルトの海へ自我を投ぐ  
秋深空画板抱へて児等の行く  
段丘は刈田となりて群雀  
遊具待つ園児の列や草紅葉  
喪の家の虚しさ支ふ柿たわわ

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
下平 玲子  
三島 保子  
三島 里子  
木下 眞水  
宮下 公  
宮下 純子  
丸山 時子  
林 恵美子  
北原 昭子

### 〈短歌会 夢あるて〉

絶妙な義母の茶碗むし真似せむと塩ひとつまみ入れるをまよう  
目をさます母のまわりを二歩三歩曾孫があゆみてともに笑えり  
金沢のひがし茶屋まち案内され往時の姿思ふてみたり  
家守る妻をさそいて遠山にバイパス祝い隧道歩く  
稲穂より背高くなびく稗めざし株かき分けて老女のありぬ  
マイナンバー人がひとでは無くなるか相聞の機微も詠えない

大原真由美  
筒井 恵子  
松尾ヒサコ  
松下 泰見  
福澤貴美恵  
富永 博道

雲白くとぶや真昼の落し水  
またひとり声遠くなる吾亦紅  
古手紙煙となりて秋の空  
愛犬の突然の死に秋の虹  
夫見舞う霧の晴れゆくバイク音  
石仏の背伸びを越える曼珠沙華  
大朝日霧のベールを脱ぎ昇る  
秋風やバルトの海へ自我を投ぐ  
秋深空画板抱へて児等の行く  
段丘は刈田となりて群雀  
遊具待つ園児の列や草紅葉  
喪の家の虚しさ支ふ柿たわわ



10月1日から  
10月31日まで(届出分)

出生  
子氏名 届出人 自治会  
坂巻 彩椰 寿明 寺垣外  
代田 朔 裕也 中部二  
毛涯 彩椰 寿明 寺垣外  
代田 朔 裕也 中部二  
坂巻 彩椰 寿明 寺垣外  
貝原 由晟 健司 寺垣外

婚姻  
原 貴浩 飯田市  
唐澤 賀織 中平  
滝川 崇弘 篠  
伊藤 香澄 中平  
死亡  
死亡者 年齢 届出人 自治会  
加藤志げ子 88 正志 地藏道  
鹿角ひで子 79 継夫 下市場  
久保田きよみ 98 秀文 八王子  
昼神みよ子 76 和康 中部  
森田 孝 79 奈奈 林里一  
北澤 清 87 清孝 柿外土  
市澤志め子 93 秀美 壬生北

〈八日会〉  
夕暮れに飛行機雲は西に伸び子等はボールを追いかけてゆく  
吉澤 新子  
おそかな牧師の言葉にうなずきつ契りを結ぶ二人に涙す  
松島 八重  
紅葉のトンネルを抜け芒野へヒーナスラインは天に向えり  
河原 梨花  
孫息子の祝宴に出せる掛軸は家宝であれば正座なし見る  
紅 梅  
明日も又高く飛びいん赤とんぼあかねの空を群なしてゆく  
岳 道

〈あしたば短歌会〉  
あきあかねびかう見れば桑摘みて蚕飼いし頃の忙しき思う  
壬生 千春  
刈り終えた田より出でしか蟻螂の土手にのんびり秋の陽浴びる  
久保田 妙  
ウインドーに並ぶ眼鏡はさまざま顔の一部とフレームに迷う  
大倉 知江  
菓子取られ「ロタン」のポーズで反抗す可愛ゆい膝が笑い出しよう  
毛涯百合子  
野の花が可憐に見えた若い頃草刈る姿想像すらなき  
北澤 秀子  
ニッキ味の京の土産に五番町夕霧楼の「夕子」が届く  
福澤 亀人

### 〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題 「寺」 福沢勝美 選  
檀徒有りお寺が在って僧が住む 久保ひろし  
平穏を願ひ谷間に寺の鐘 林 桃子  
今日の無事明日も頼りの寺の鐘 市沢 照子  
浅草寺飛び交う英語中国語 桃沢 健介  
軸吟…終戦忘万感秘めて寺の鐘  
▼課題 「分」 互 選  
分岐点迷いつ生きた八十の坂 安田 喜子  
分相応地道に歩く凡夫婦 西元 峯子  
農業へ分岐点つけPPP 原 美風  
▼自由吟 桃沢健介 選  
のど元を過ぎて安忘れまじ 福沢 勝美  
ダイアリー今年白紙が多いのね 小澤 凜  
政権もPPPも農を見ず 吉川 燎  
軸吟…マンションが傾斜企業も無責任